

題字 故前田和二郎名誉教授
発行所
東京都新宿区信濃町 35
慶應義塾大学医学部
外科学教室同窓会 (刀林会)
発行人 松本純夫

刀林会からのお知らせ



刀林会理事長
東京医療センター名誉院長

松本 純夫 (52回)

令和2年6月20日(土)に予定されていた刀林会全員集会は COVID-19 感染症のため中止し、社員総会(旧評議員会)は令和2年6月19日(金) 18時より Web 会議として開催しました。

慶應義塾大学医学部外科学教室創立100周年記念講演会・懇親会は令和2年12月26日(土)ザ・オークラ東京 平安の間で開催する予定です。奮ってご参加ください。
尚、創立100周年記念

ネクタイも作りました。希望者には原価8千円(送料込み)でお譲りします。希望者は刀林会事務局



(fourin-h@keio.jp) までお申し込みください。

連合三田会 会長退任



比企 能樹 (37回)

2013年に慶應連合三田会を26年も主宰された服部禮次郎さんが亡くなられ、慶應のシンボルの様な方の後任として慶應連合三田会会長に、時の塾長・清家篤さんから指名された。正しく青天の霹靂で怖気づく私に当時の戸山芳昭常任理事が「医学部から三田会長を出すのは稀有のことなのだから絶対に断らないように」と釘をさされた。

立ったか分からない。同窓会という組織を一つの船と例え、先に述べたボートの精神で、塾員のみなさんと心一つにし、私は慶應連合三田会長という任務を果たすことが出来たと自負する。

私は平成17年に慶應義塾大学医学部三四会の会長を拝命して、塾の創立150年記念事業における新病院棟建設計画のための本塾との折衝に関わったが、現在の3号館を始め工事が滑り出した時は本当にほっとした。

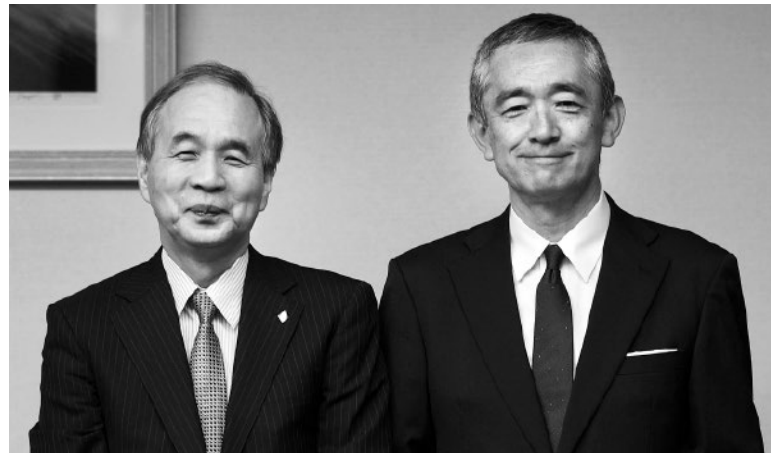
今年三月、後任会長を初の女性会長である菅沼安嬉子君(47回内)に託したが、思いもよらぬコロナ禍で苦労をかけることになったものの、真の臨床医である彼女ならではの対処をして貰っており、三田会のために本当に良かったと考えている。

昔1922年に慶應義塾大学医学部が福澤先生の深い思いを背負った北里先生によって、国立大学を凌駕する陣容の医学者を集め開設された。その医学部に入学を許された学生達は如何ばかり誇らしかったことであろう。だがそんな彼らの幾人かが過度な驕りを持ち本来制服に付けてはいけな

らでもなく、飽くまで入部順で先輩後輩の線が引かれていた。しばらくしてようやくオールを持たされ、試合にも出してもらったのだが、その後は只管にただ漕ぐだけであった。ボートという競技の神髄は「艇ありて一人なし」という精神である。次の試合で勝つためには、どうやれば心一つにして勝てるかと部員たちは目的を共にして汚い合宿に暮した。この後、他に得難い友情を結び、体験できない他学部の人々、言い換えれば三田も日吉も四谷もなく一つに成れたことは確かであった。



東京歯科大学副学長就任のご挨拶



東京歯科大学井出吉信理事長・学長(左)と松井

2019年6月から東京歯科大学の副学長を拝命いたしました。今年、大学創立130周年を迎える長い歴史と伝統のある日本で最初の歯科大学の副学長に医学部出身として初めて任命されました

私は、本市川総合病院外科教授・部長として安藤暢敏病院長の下に赴任してから10年余になります。赴任当時年間600件余りの外科手術件数を徐々に増やして2018年一年間で

1,056件と初めて1,000件を超えることができました。素晴らしい外科のスタッフとチームに恵まれて、躍動し大きく発展し充実した教室を運営することができ、2013年から副病院長として病院運営にも関わって来ました。本学は水道橋、千葉(稲毛)、そして市川の3キャンパスを持ち、大学の目的として豊かな教養と高い人格とを備えた人材を育成し、人類の福祉に貢献することを掲げています。日本に29ある国公私立の歯科大学と歯学部の中で歯科医学教育のトップと言える大学となっております。優秀な卒業生を毎年100数十人輩出し、歯科医師国家試験合格率は10年以上に渡って90%を越え、毎年のように全国第1位になっていま

す。100年以上の長い歴史の中で卒業生は約17,000名、同窓会は会員数9,000名を超えています。実は、東京歯科大学と慶應義塾とは古くから深い縁があります。本学の創立者高山紀齋は、1870年福沢諭吉が主宰する慶應義塾へ入社し、その後渡米しアメリカの歯科医術開業試験に合格し帰国して、1890年三田と高輪の間の伊皿子坂に本学の前身の歯科医学院を創設しました。高山を継いだ建学者とされる血脇守之助(1870-1947)も慶應義塾の卒業生であり、本学資料館に1889年の社頭福澤諭吉による卒業証書が残されています。1946年、本学が歯学生の教育に医学教育を積極的に取り入れたいと考えて市川病院(現市川総合病院)を開設した際には、古くからの慶應義塾との深い縁から慶應義塾大学の医師を迎えることになったと聞いております。こう言った総合病院を歯科単科大学が有する例は世界でも唯一であり、今では慶應義塾大学医学部にとって大変重要な関連病院の一つとなっております。

ことは刀林会の皆様ご存知の通りであります。最近になって2012年11月には慶應義塾大学医学部と東京歯科大学は、包括的な連携のもとで研究、教育、臨床において相互に交流を深めていくことに合意し連携協定を締結しています。また、文部科学省が行っている「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」に歯科大学として唯一参加し、慶應義塾大学が主幹の「高度がん医療開発を先導する専門家の養成プログラム」の一員となっております。

こうやって歴史を振り返ると、慶應義塾大学医学部と東京歯科大学は、わが国私学における歯科と歯科のリーダーとしてお互いに関係し合いながら発展して来ているのです。このような歴史の上に立って、東京歯科大学井出吉信理事長・学長(写真左)の下で、副学長として、両大学の未来に向かっていきます。関係の深化と飛躍のために微力ながら精一杯役目を果たしていきたいと存じます。

刀林会諸先生方のご指導ご支援を今後ともよろしくお願い申し上げます。



松井 淳一 (58回)

さいたま市立病院 院長就任

さいたま市立病院は、浦和市の西部に位置する緑区三室の丘の上に位置し、2019年12月に同一敷地内に新病院を建設し、移転しました。637床の急性期総合病院で、さいたま市131万人の中核病院の一つとして機能しています。当院は1953年に浦和市立伝染病院、および浦和市立結核療養所として開設されました。その後、結核患者の減少に伴い、結核病床100床が一般病床に変更され、1973年に浦和市立病院となりました。1989年に14診療科を擁する総合病院へと発展し、2001年に浦和市、与野市、大宮市の3市合併によりさいたま市が生まれたことにより、さいたま市立病院となりました。

老朽化のための建て替えについては、2010年の構想段階から7年を経て、2017年より建築が開始され、2019年に竣工、移転を果たしました。第6代院長、勝俣慶三先生(小児外科31回)、第7代院長、戸倉康之先生(一般外科41回)、第8代院長、遠藤昌夫先生(小児外科44回)、第10代院長、窪地淳先生が刀林会の出身者であります。

前院長の窪地淳先生(一般外科58回)が特命参与となられたため、わたくしが院長職を務めることとなりました。当院は医師が109名、後期研修医35名、初期研修医25名の169名の医師と666名の看護師、ほぼ160名のコメディカル、637床の総合病院です。外科(一般消化器外科、血管外科、小児外科、呼吸器外科)、脳神経外科、整形外科、麻酔科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、膠原病内科、腎内分沁内科、泌尿器科、小児科、新生児内科、産婦人科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、放射線治療科、放射線診断科、精神科、の諸科の医師の大半は慶應義塾の医局より派遣していただいております。医師の約8割が慶應義塾の医局出身者です。

血液内科、感染症内科、消化器内科、心臓血管外科、眼科の医師は、他大学の医局より派遣していただいております。新病院開院に伴い、身体合併症を有する精神科の治療に当たる精神科床30床を整備し、緩和ケア病床20床を新設しました。3次救急を担うべく、救急救命センター(30床)の整備を進めております。外科は血管外科部長 朝見淳規(66回)、一般外科部長 馬場秀夫(70回)、小児外科部長 大野通暢(80回)、呼吸器外科部長 米谷文雄(特71回)らの下、医師15名、専攻医4名で診療を行っています。新病院等の開院とともに、手術室も拡大整備し、ハイブリッド手術室、Da Vinci手術室、4Kハイビジョン内視鏡システムを導入し、低侵襲手術のほぼすべてが可能となっております。

院長就任と時を同じくして新型コロナウイルス感染症の世界的まん延が始まり、東京都および都下3県も、日に日に感染患者が増加する事態となりました。当院はさいたま市、川口市、蕨市、戸田市を担当区域とする、唯一の第2種感染症指定医療機関として患者を収容する役割を担っておりますが、認可病床10床では不足が、4月14日から結核病床を新型コロナウイルス感染症専用病床に転用して対応し、呼吸器使用患者にはICUの陰圧個室を使用して合計21床で運用しています。

日に日に激変する状況の中、病院の中でクラスターを作らないことを第一目標として、運営をしてきました。市中のまん延の状況から、一般病床に入院する患者や、職員からの感染者の発生はあるものと考え、症例を院内で見つけた際の周囲接触者の同定と隔離、健康観察ホートの決定、棟の移動や再編などのダメージコントロールのシステムを策定し、実行してきました。幸い、現在まで一般病床で3件の事例が発生しましたが、すべての事例で孤発例で終息し、院内でのクラスター形成を防ぐことができました。これは、職員の努力と、機動的な対応が可能であった新病院の構造によるものであると考えています。現在の課題は検査システムの再構築と、PPE調達の安定化です。

新型コロナウイルス感染症は、今後、長期にわたり、医療を行ってゆく際の課題となつてゆくことと思われまます。「コロナ時代の医療」を見据えて、新しい戦略で病院を運営してゆく必要があると考え、システムを新たに、PDCAサイクルを回して地域医療を支えるタフな急性期病院としての役割を果たしてゆきたいと考えています。

引き続き、刀林会の先生方には益々のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

堀之内 宏久 (61回)

さいたま市立病院院長退任に寄せて



窪地 淳 (58回)

私事ではありますが、平成20年10月1日にさいたま市立病院に副院長として赴任し、平成26年4月から院長として勤務しておりますが、令和2年3月31日を持ちまして、さいたま市立病院の院長を退任しましたのでご報告致します。

さいたま市立病院では約12年間勤務したことになります。その内約9年間と言ふ長期にわたり新病院の建設に関わることになりました。赴任当時、建物の老朽化、狭隘化が激しく、療養・労働環境の悪化が目立



ち、また自治体病院の宿命とも言える多くの部門で職員の数が少なく抑えられ、高度な医療を満足に提供できる体制ではありませんでした。この様なことから、早々に新病院の建設に取り掛からなければ近隣の医療機関から取り残され大きく後れを取ってしまうとの焦りを感じてしまう程、当院にとつては新病院建設が喫緊の課題でありました。

ところが赴任して間もなく、当院が長年医療材料絡みの詐欺事件に巻き込まれていたことが判明し、市立病院の信頼は失墜し、病院の扱いは格下げとなり、更には事業仕分けで病院の存続が問われると言った厳しい局面に接することになりました。このことで、新病院建設は増々遠のくものど覚悟せざるを得ない状況でしたが、平成23年に「さいたま市立病院あり方検討委員会」が開かれ、これを契機にさいたま市の重い腰が上がり新病院建設に向けて流れが変わったことを思うと、厳しい局面が市立病院の将来に向け意味のあるこ

とだったと言えましょう。「さいたま市立病院あり方検討委員会」で、病院建替えが取り上げられ、平成26年に施設整備委員会、「さいたま市立病院施設整備基本計画」が策定され、新病院建設が本格的に始まり、以降院長室は会議、打ち合わせ、作業場と戦場と化し、更に慌ただしい日々を過ごすことになりました。建設途中震災などの影響で建築費が高騰し、建築や医療機器購入等が計画通り進まず苦慮することもありました。建設が始まって約6年後令和2年1月6日に、職員数は670名から995名に増員し、医療の近代化を図り既存の医療機能を強化し、637床に増床した新病院を開院することができました。自治体病院は、民間では担えない高度急性期・急性期の医療や不採算部門の医療などを提供することが求められています。近年激しく吹き荒れている医療提供体制への改革に、新病院の完成により当院の役割を果たすための基盤ができたものと感慨

深く思っているところで。現在新型コロナウイルス感染が蔓延し世界中が対応に苦慮していますが、時を同じくして感染対策を重視した新病院を開院させることができたことに、何らかの運命を感じている次第です。院長在任中には、全国自治体病院協議会の常務理事や日本病院会の常任理事等の役員を務め、また地域医療への関わりとして埼玉県外科医会の副会長として、更には浦和医師会の理事として臨床的・行政的立場から活動できたことも何らかの形で地域医療にも貢献ができたことは意義深かったと考えています。今後は、さいたま市長の要請もあり、名誉院長「兼」経営戦略特命参与として市立病院に関与することになつていきます。在任中、刀林会の諸先生方のご支援に対し心より感謝申し上げますと共に、今後とも引き続きさいたま市立病院の益々の発展にご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



東京歯科大学市川総合病院 外科学講座主任教授就任



長谷川 博俊 (66回)

この度、2020年4月1日付で東京歯科大学市川総合病院外科学講座主任教授を拝命いたしました。これまで刀林会の諸先生方より多くのご指導ご支援を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。特に慶應義塾大学病院長、慶應義塾大学医学部外科学教授北川雄光先生、東京歯科大学副学長、東京歯科大学市川総合病院外科学教授松井淳一先生には多大なるお力添えをいただき、深く感謝申し上げます。

私は1987年3月に慶應義塾大学医学部を卒業し、慶應義塾大学外科学教室に入室いたしました。静岡赤十字病院、伊勢原協同病院での教育出張後、帰室し一般・消化器外科 腸班に所属し、小平 進先生(42回)、寺本龍生先生(47回)、渡邊昌彦先生(58回)にご指導いただきました。また研究面では故上田政和先生(53回)にご指導いただきました。1993年からポストチーフとして4年間足利赤十字病院に

2000年から安藤暢敏先生(50回)、2008年から松井淳一先生の各教授に引き継がれてまいりました。東京歯科大学は国内の歯科大学では唯一総合病院を有する大学であり、また今年創立130周年を迎えます。今後は大腸領域では癌だけでなく炎症性腸疾患や直腸脱などにおいても低侵襲治療を拡大するとともに、各領域においてもこれを推進してまいります。また同時に初期研修医、専修医への教育の充実を図り、一人でも多くの若い優秀な外科医を育てよう努力してまいります。今後とも刀林会の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

国際医療福祉大学医学部教授、 国際医療福祉大学三田病院 消化器センター長を拝命して



篠田 昌宏 (73回)

この度、慶應義塾大学外科学北川雄光教授のご高配で、2020年4月1日付で国際医療福祉大学医学部教授、国際医療福祉大学三田病院消化器センター長を拝命しました。国際医療福祉大学は、医療福祉専門職の養成をめざし、「日本初の医療福祉を専門とする総合大学」として、1995年に設立されました。7つのグループ病院のなかでも唯一東京に位置する三田病院は、2005年に東京専売病院を引き継ぎスタート、2015年に国際的な医療機能評価であるJoint Commission Internationalの認証、東京都がん診療連携拠点病院の認定を得るなど、高機能を有する病院です。

今回このような素晴らしい施設で消化器センター長の要職に就く機会をいただいたのは、刀林会の諸先輩の長年のご指導の賜物にほかなりません。私は、1994年に慶應義塾大学を卒業、直ちに外科学教室に入局しました。故北島政樹先生が主宰する一般・消化器外科で研修を開始、1997年に胆道班に加入後は高橋伸先生(52回)、島津元秀先生(53回)、故上田政和先生(53回)、若林剛先生(61回)のもとで肝胆膵の臨床と研究に励みました。2001年に米国立留学、2004年にチーフ出張(川崎市立川崎病院)をしたのち、2006年に慶應義塾大学外科に帰室をいたしました。北川雄光教授より臨床・研究・教育のすべてで活動する機会を与えていただき、臨床面で、相浦浩一先生(63回)、田邊稔先生(64回)、河地茂行先生(68回)の指導を仰げたことは大変な幸運でした。2013年には肝移植医療の責任者、2017年には肝胆膵移植医療の統括責任者を拝命し、多くの優秀な同僚と「命と向き合う究極のチーム医療」を目指して邁進してまいりました。特に肝移植は、故北島政樹先生が私がフレッシュ

マンの時に慶應第1例を成功させ、島津先生、田邊先生、森川康英先生(49回)、星野健先生(63回)が責任者として発展をさせてきた医療ですが、私の在籍期間もこの医療を継続し、感動も苦労も同僚と分かち合うことができたのは生涯の財産です。国際医療福祉大学は、患者が健康を取り戻すのに必要な、看護、理学・作業療法、薬学、検査などすべての人材を養成する大学であり、「究極のチーム医療」を推進するにはこれ以上ない環境の大学です。この素晴らしい環境で、消化器外科、消化器病医療の発展を目指し切磋琢磨して参りたいと存じます。今後も刀林会の諸先輩のご指導をいただきたく何卒よろしくお願い申し上げます。



日本標準商品分類番号 874291

抗悪性腫瘍剤 / 抗PD-L1注1) ヒト化モノクローナル抗体
生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品注2)

テセントリグ® 点滴静注 1200mg

TECENTRIQ®
atezolizumab


アテゾリズマブ(遺伝子組換え)注
注1) PD-L1(Programmed Death-Ligand 1)
注2) 注意-医師等の処方箋により使用すること

※効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意、効能・効果に関連する使用上の注意、用法・用量に関連する使用上の注意等は製品添付文書をご参照ください。

製造販売元 **中外製薬株式会社** (資料請求先)メディカルインフォメーション部
〒105-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1 TEL.0120-140564 FAX.0120-189705

©F. Hoffmann-Larochette (スイス) 登録商標

2019年3月作成



血液凝固阻止剤

アコアラン® 600 静注用1800

600国際単位、1800国際単位 / バイアル
ACOALAN Injection アンチトロンビン ガンマ(遺伝子組換え)静注用

生物由来製品 処方箋医薬品注) 薬価基準収載

(注意-医師等の処方箋により使用すること)

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元 **協和キリン株式会社**
東京都千代田区大手町1-9-2

販売元 **一般社団法人 日本血液製剤機構**
東京都港区浜松町2-4-1

2019年11月作成

【文献請求先及び問い合わせ先】
日本血液製剤機構 <すり相談室> 〒105-6107 東京都港区浜松町2-4-1 医療関係者向け製品情報サイト <https://www.jbpo.or.jp/med/d/>

瑞宝中綬章を受章して



市立御前崎総合病院顧問

中村 達 (49回)

令和元年秋の叙勲において、瑞宝中綬章を受章いたしました。令和元年の叙勲は新天皇からいただくと思ふと、とても運のいい人生となると正直言つて嬉しい限りでした。11月3日新聞に発表されると、慶應義塾長、常任理事、医学部長、病院長、三四会長の皆様から祝電をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。12月13日に勲章と勲記を拝受し、皇居で新天皇陛下に拝謁の荣誉に浴しました。

ながらも頑張つて参りました。国立大学が法人化した後、運営・経営はやりやすくなりましたが、見直すべきことが多く、医学教育の改善、すべての建物を改修・新築、高額医療機器の更新、研究者たちの支援、外部資金の獲得、病院収入の増収増益を図るなどを行った結果、文部科学省にそこそこ評価されました。病院長から学長を終えるまでの12年間は無我夢中でした。

このたび第58回日本小児外科学会学術集会の会長を拝命し、大変光栄に感じるとともに伝統ある学術集会を主催する責任の重さに身の引き締まる思いであります。日本小児外科学会は1964年の創立です。本学では1959年に嶋田信勝教授の指示で伝田俊男先生達が小児外科グループを創設しておりますので、わが国の小児外科の萌芽から間もない時期の創立になります。爾来、半世紀を超え、日本小児外科学会は日本医学学会傘下の学術団体として、また日本外科学会の専門領域学会の一つとして、国際的にも小児外科学における指導的地位を築いてきました。本学ではこれまで第22回学術集会を勝俣慶三先生が、また第44回学術集会を森川康英先生が主催されております。

小児外科は外科学の中でも新しい分野で、近代的な小児外科手術が始まったのは欧米先進国においても前世紀の半ばを下りません。それだけに今日でも、胎児治療、移植、小児がん手術など多くの前人未踏のフロンティア領域が遺つています。外科手術により子どもを助けたという情熱とともに、こうしたフロンティア領域への挑戦は小児外科のロマンとも言えます。そこで福澤諭吉が北里柴三郎に贈った「贈医」の一節から「自然の臣たるなかれ」を第58回学術集会のメインテーマと致しました。あらゆる手段を尽くし、手段の達するの辺、唯これ真なりとした福澤の医に対する思いと、挑戦的な小児外科医療の展開を重ねたものであります。メインテーマに沿って第58回の学術集会では海外からも著名な研究者をお呼びして、再生医療、移植医療の展開、AI、国際連携など、医療の新しい姿を討議するセッションを多く企画しております。

会期は例年の小児外科学会に合わせて2021年4月28日(30日)、会場は横浜に新たに開設されたパシフィコ横浜ノースを予定しています。昨今のコロナウイルス感染拡大の長期化

によつては2021年の予定には流動的な要因もありませんが、交通の便、宿泊環境などに恵まれた横浜の地で、国内外の多くの研究者が集う学術集会としてこの学会を盛り上げることが出来ればと考えております。学会運営にあたっては参加者の参会費や学会本体からの運営交付金によりできるだけ支出を賄いたいと存じてはおりますが、昨今の経済事情やオリンピックを控えた諸般の費用の高騰により、全ての支出をこれで賄うことは不可能と思っております。刀林会の皆様には、

私は昭和45年に慶應医学部を卒業し、同年4月から消化器外科学を専攻して、卒業後2年目に国立霞ヶ浦病院で故奥井津二先生(27回)、故遠山隆夫先生(35回)に学び、翌年済生会宇都宮病院で梅園明先生(32回)、尾形佳郎先生(41回)に多くのことを学びました。帰局後の3年間は肝胆膵外科グループに属し、故都築後治先生(34回)に臨床並びに研究のご指導を賜り、医学部の改革の時期で大学へ

帰任された尾形先生に手術の技術的なご指導を受けました。この間、埼玉で開業しておられた故大城兼光先生(37回相当)にも多大な教えを頂き、今日まで私の外科医人生に大きく影響を受けてきたところです。

昭和49年故阪口周吉先生が浜松医科大学第二外科科学講座教授に就任されたことから、肝胆膵外科部門をやつてみてはと都築先生に勧められ、同52年10月阪口先生の下に働く機会を得ました。以来、無心に肝臓外科手術と基礎的研究に努力を重ねてきました。平成10年4月故馬場正三先生の後を継いで第二外科教授に昇任しました。同16年に国立大学が法人化したため、教授を辞任し、財務・病院担当理事兼病院長に就任しました。この時今野弘之君(57回)が第二外科の教授に就任し、次いで私は同22年学長に就任しました。同28年学長の任期が終了して、今野教授が学長に就任しました。慶應勢は少ない

とが出来ましたのは、慶應義塾大学を卒業以来多くの方にお世話になったお陰であり、運が良かった外科医と思っております。心から皆様に感謝しております。

このたび第58回日本小児外科学会学術集会の会長を拝命し、大変光栄に感じるとともに伝統ある学術集会を主催する責任の重さに身の引き締まる思いであります。日本小児外科学会は1964年の創立です。本学では1959年に嶋田信勝教授の指示で伝田俊男先生達が小児外科グループを創設しておりますので、わが国の小児外科の萌芽から間もない時期の創立になります。爾来、半世紀を超え、日本小児外科学会は日本医学学会傘下の学術団体として、また日本外科学会の専門領域学会の一つとして、国際的にも小児外科学における指導的地位を築いてきました。本学ではこれまで第22回学術集会を勝俣慶三先生が、また第44回学術集会を森川康英先生が主催されております。

小児外科は外科学の中でも新しい分野で、近代的な小児外科手術が始まったのは欧米先進国においても前世紀の半ばを下りません。それだけに今日でも、胎児治療、移植、小児がん手術など多くの前人未踏のフロンティア領域が遺つています。外科手術により子どもを助けたという情熱とともに、こうしたフロンティア領域への挑戦は小児外科のロマンとも言えます。そこで福澤諭吉が北里柴三郎に贈った「贈医」の一節から「自然の臣たるなかれ」を第58回学術集会のメインテーマと致しました。あらゆる手段を尽くし、手段の達するの辺、唯これ真なりとした福澤の医に対する思いと、挑戦的な小児外科医療の展開を重ねたものであります。メインテーマに沿って第58回の学術集会では海外からも著名な研究者をお呼びして、再生医療、移植医療の展開、AI、国際連携など、医療の新しい姿を討議するセッションを多く企画しております。

令和元年秋の叙勲において、瑞宝中綬章を受章いたしました。令和元年の叙勲は新天皇からいただくと思ふと、とても運のいい人生となると正直言つて嬉しい限りでした。11月3日新聞に発表されると、慶應義塾長、常任理事、医学部長、病院長、三四会長の皆様から祝電をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。12月13日に勲章と勲記を拝受し、皇居で新天皇陛下に拝謁の荣誉に浴しました。

ながらも頑張つて参りました。国立大学が法人化した後、運営・経営はやりやすくなりましたが、見直すべきことが多く、医学教育の改善、すべての建物を改修・新築、高額医療機器の更新、研究者たちの支援、外部資金の獲得、病院収入の増収増益を図るなどを行った結果、文部科学省にそこそこ評価されました。病院長から学長を終えるまでの12年間は無我夢中でした。

このたび第58回日本小児外科学会学術集会の会長を拝命し、大変光栄に感じるとともに伝統ある学術集会を主催する責任の重さに身の引き締まる思いであります。日本小児外科学会は1964年の創立です。本学では1959年に嶋田信勝教授の指示で伝田俊男先生達が小児外科グループを創設しておりますので、わが国の小児外科の萌芽から間もない時期の創立になります。爾来、半世紀を超え、日本小児外科学会は日本医学学会傘下の学術団体として、また日本外科学会の専門領域学会の一つとして、国際的にも小児外科学における指導的地位を築いてきました。本学ではこれまで第22回学術集会を勝俣慶三先生が、また第44回学術集会を森川康英先生が主催されております。

小児外科は外科学の中でも新しい分野で、近代的な小児外科手術が始まったのは欧米先進国においても前世紀の半ばを下りません。それだけに今日でも、胎児治療、移植、小児がん手術など多くの前人未踏のフロンティア領域が遺つています。外科手術により子どもを助けたという情熱とともに、こうしたフロンティア領域への挑戦は小児外科のロマンとも言えます。そこで福澤諭吉が北里柴三郎に贈った「贈医」の一節から「自然の臣たるなかれ」を第58回学術集会のメインテーマと致しました。あらゆる手段を尽くし、手段の達するの辺、唯これ真なりとした福澤の医に対する思いと、挑戦的な小児外科医療の展開を重ねたものであります。メインテーマに沿って第58回の学術集会では海外からも著名な研究者をお呼びして、再生医療、移植医療の展開、AI、国際連携など、医療の新しい姿を討議するセッションを多く企画しております。

会期は例年の小児外科学会に合わせて2021年4月28日(30日)、会場は横浜に新たに開設されたパシフィコ横浜ノースを予定しています。昨今のコロナウイルス感染拡大の長期化

によつては2021年の予定には流動的な要因もありませんが、交通の便、宿泊環境などに恵まれた横浜の地で、国内外の多くの研究者が集う学術集会としてこの学会を盛り上げることが出来ればと考えております。学会運営にあたっては参加者の参会費や学会本体からの運営交付金によりできるだけ支出を賄いたいと存じてはおりますが、昨今の経済事情やオリンピックを控えた諸般の費用の高騰により、全ての支出をこれで賄うことは不可能と思っております。刀林会の皆様には、



第58回日本小児外科学会学術集會

第58回 日本小児外科学会学術集會
The 58th Annual Congress of the Japanese Society of Pediatric Surgeons (JSPS 2021)

会長 黒田 達夫 慶應義塾大学医学部小児外科 教授
Tatsuo Kuroda, M.D., Ph.D. (Keio University School of Medicine)

2021.4/28 (Wed.) - 4/30 (Fri.)

会場 パシフィコ横浜ノース (横浜市西区)
PACIFICO Yokohama (Yokohama, Japan)

自然の臣たるなかれ

Official Website: <http://jps58.umin.jp/>



慶應義塾大学医学部 外科 (小児)

黒田 達夫 (61回)

第32回日本内視鏡外科学会総会を終えて



東海大学医学部消化器外科
領域主任教授
小澤 壯治 (60回)

2019年12月5日から7日までの3日間、第32回日本内視鏡外科学会総会をパシフィコ横浜で開催いたしました。参加者数は約7,000人に達し、演題総数は3,485題を数え、これらの演題を37の会場で発表していただきました。大過なく学会総会を終了できましたことは、刀林会

先生方による数々の温かいご支援の賜物にて、心より御礼申し上げます。「医療機器技術」や「手術手技を支えるコメディカル」の「インベーション」が内視鏡外科にとりまして大切であるという思いから総会テーマを「Challenge for Innovation」とし、会期中は世代・職種を超えて創意工夫にあふれた研究成果発表や企業展示が行われ、参加者全員が Innovative で内視鏡外科に対する熱意を改めて知ることとなりました。

第32回総会では理事長講演・会長講演・大上賞受賞記念講演・北島政樹先生メモリアルセッション・特別講演・教育講演のほかに、シンポジウムを23、パネル

ディスカッション21、ワークショップを46と合計96の主題セッション、一般演題457セッション、International Session セッションを実施いたしました。理事長講演では渡邊昌彦先生(58回)により「JSESの進化が止まらない」というタイトルで「挑戦」を後押しする内容にて講演いただきました。さらに渡邊先生には私の会長講演の司会をお務めいただき、故大

北島先生の内視鏡外科に対する情熱について思い出話を交えながら語っていただきました。なお、本総会開催にあたり、小柳和夫先生(71回)に事務局長を務めてもらい、宮嶋哲先生(泌・69回)や長泰則先生(69回)、山本聖一郎先生(70回)そして渡辺稔彦先生(75回)に忙しい臨床の合間をぬってプログラム編成など総会の根幹となるところを支えてもらい、感謝の念に堪えません。



上正裕先生(58回)が腹腔鏡下胆嚢摘出術を、渡邊先生が腹腔鏡下大腸手術を始めた頃、私も食道疾患に対する内視鏡下手術に携わるようになり、それから28年間、内視鏡下手術の「知と技」の研鑽に励む挑戦の日々について講演できましたことは、感慨深いものがございます。また、その他のセッションではたくさんの方の刀林会の先生方にご登壇ご発表いただきましたことは、言い尽くせないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。

第32回総会の目玉企画とした「Innovative Technologies」の「Practical Technologies」の

「知と技」の研鑽に励む挑戦の日々について講演できましたことは、感慨深いものがございます。また、その他のセッションではたくさんの方の刀林会の先生方にご登壇ご発表いただきましたことは、言い尽くせないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、この3日間がご参加くださった皆様にとりまして有意義なものになっていくことを願い、また本総会を通じて「挑戦する喜び」を与えてくださった皆様への感謝を込めて、学会総会のご報告とさせていただきます。



第42回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 収支決算書

帝京大学医学部長

川村 雅文 (61回)

■支出

項目	金額	備考
I 事前準備関係費	¥25,554,035	
1 一般準備経費	15,721,082	
2 プログラム編成関係費	2,087,753	
3 通信費	105,778	
4 制作費	7,639,422	
II 当日運営関係費	¥69,783,319	
1 会場関係費	29,846,949	
2 映像機材費	8,270,048	
3 看板・ポスターパネル関係施工費	5,752,890	
4 運営要員関係費	5,259,549	
5 展示会場関係費	2,425,896	
6 飲食・会合関係費	8,293,104	
7 招請者関係費	8,383,963	
8 諸雑費	1,550,920	
III 事後処理費	¥903,134	
合計	¥96,240,488	

■収入

項目	金額	備考
I 参加費収入	¥52,799,170	
1 学会参加費(一般)	49,398,120	参加者数 3,259名
2 気管支鏡セミナー	1,911,050	参加者数 394名
3 抄録集販売	125,000	50冊
4 全員懇親会	485,000	97名
5 拡大プログラム委員会	880,000	88名
II 学会本部補助金	¥8,300,000	
1 学会本部補助金	6,000,000	
2 気管支鏡セミナー補助金	1,500,000	
3 委員会関連補助金	800,000	
III 広告関係費	¥691,200	
1 抄録集広告	691,200	8社
IV 企業展示出展料	¥6,966,000	
1 基礎小間	6,750,000	17社
2 書籍展示	216,000	1社
V 共催セミナー	¥21,924,000	
1 ランチョンセミナー	19,656,000	11セミナー
2 コーヒーブレイクセミナー	1,728,000	2セミナー
3 ハンズオンセミナー	540,000	1セミナー
VI 寄付金・助成金	¥5,560,118	
1 慶應義塾大学医学部 外科学教室同窓会刀林会	1,460,000	
2 日本製薬団体連合会	4,000,000	
3 その他	100,000	
4 利息	118	
合計	¥96,240,488	

病院紹介

浜松赤十字病院



奥田 康一 (59回)

浜松赤十字病院は浜松市から日本赤十字社静岡県支部への要請を受けて、昭和13年3月に市内中心部(現在の中区高林)に開設されました。その後、疾病構造の変化や地域住民のニーズに対応して病院機能を逐次進展、変換してきました。平成19年7月に12市町村の合併により浜松市が政令指定都市となり、当院も同年11月に現在地(旧浜北市、現在の浜北区小林)へ移転

新築しました。浜北区は市内で唯一人口が増加している区で、平成24年4月に新東名高速道路が開通してから周辺の住宅地と商業施設が急速に充実してきており、今後もさらに発展が期待できる地域です。当院の初代院長は山田鐵三郎先生(10回)で、次の益頭尚道先生(25回)までは内科でした。3代目からは外科で住山正男先生(32回)、安藤幸史先生(45回)

と続き、平成23年から私が院長を拝命しております。外科の基礎は昭和39年から住山先生(一般・消化器外科)、越智功先生(34回脳外科)村山博良先生(35回胸部外科)が築かれました。住山学校と呼ばれたアメリカ式の厳しい教育と症例数に恵まれた環境で、後に各方面で活躍になられる多くの先生方が巣立っていかれました。安藤院長時代には移

業が完遂されました。現在外科のメンバーは総勢9名で、各臓器班のスタッフがそろっています。奥田(59回腸)、西脇眞副院長(66回肝胆膵)、伊藤亮副部長(82回上部消化管)、代永和秀副部長(83回腸)と今年4月からD3の百瀬ゆずこ君(97回相当)が加わっています。その他に乳腺・甲状腺の清野徳彦部長(平成1年川崎医大卒、34回原田種一先生門下)が平成7年から勤続しています。今野弘之学長(57回)と竹内裕也第二外科教授(71回)の浜松医科大学から肝胆膵の柴崎泰副部長(平成15年卒)、血管の鈴木実副部長(平成10年卒)と杉澤良太副部長(平成16年卒)の派遣を受けています。当院は病院運営方針の2本柱として「地域医療支援病院」と「災害拠点病院」を掲げています。移転新築時より病診連携を徹底しており、診療所、各種施設および他の病院と地域における医療の役割分担を明確にして、浜松市北部の基幹病院として地域医療を担っています。また、赤十字の使用命であります災害救護を常に意識し、災害時における拠点病院としての活動訓練や他地域へのDMATや救護班の派遣を行っています。

今後とも刀林会諸兄の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



転新築という大事



臨床報告



慶應義塾大学医学部 外科 (呼吸器) 鈴木 陽太 (92回)

慶應義塾大学外科学(呼吸器)所属、92回鈴木陽太と申します。2018年7月より米国テキサス州ガルベストン、University of Texas Medical Branch (UTMB) 外科にて一般外科のレジデンシーを行っており、この度伝統ある『刀林』で留学報告の機会をいただきましたことを大変光栄に存じております。

いまは。腫瘍手術などにおいては日本の外科の素晴らしさを再度確認する一方、外傷や集中治療を含めた良性疾患への理解や移植医療におけるシステムなど、多くのことを学んだ一年でした。

UTMBは2009年のハリケーン被害などもあり、現時点で米国を代表する最先端施設とはいえないのが現状ですが、テキサス州で最も古い伝統あるプログラムです。部長であり来期より米国腫瘍外科学会会長を務めるDr. Tylerや、米国外科学のスタンダードであるSadisonの筆頭編者として知られるDr. Townsendを始め、ナショナルビッグネームも複数在籍しており、一般外科を学ぶ場としては素晴らしい環境だと考えております。大都市ヒューストンに隣接しながらも、メキシコ湾を臨むガルベストン島に位置することも魅力の一つです。医師6年目にして、イン



ベストインターンを受賞して。部長のDr. Doug Tyler, DirectorのDr. Raviと。

ターンとして病院を駆け回った昨年は決して楽なものではありませんでした。慶應の外科研修で身につけた基礎を徐々に評価していただき、執刀機会も増えてまいりました。日本の精緻な手術を懐かしく思うことも多いですが、外傷での緊急開胸、ロボット手術、移植などのアメリカならではの手術経験は、混然としてながらも大変充実したものであると感じる毎日です。英語を含めた環境にはようやく慣れてきましたが、7月からは上級学年としてチームをまとめる立場となり、また困難と学びに溢れた一年となることでしょう。

今後は一般外科研修と並行し米国での胸部外科フェローを目指すこととなりま。UTMBでの経験に加え、慶應で学んだ手技・思考を自分の核とし、日々修練を重ねていく所存です。末筆となりましたが、留学に際し格別のご高配を頂きました浅村尚生教授、大塚崇先生、呼吸器外科医局の先生方、平素よりご支援いただいたいる外科学教室刀林会の皆様方に、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

なでしこ外科医



川崎市立川崎病院 呼吸器外科 井澤 菜緒子 (82回相当)

この度は、なでしこ外科医への寄稿の機会をいただきありがとうございます。2003年に富山医科大学を卒業し、慶應義塾大学医学部外科学教室に入局しました。医学部学生時代、臨床実習が始まるまでは内科志望でしたが、実習が始まってみると外科の方が楽しく、自分で手を動かすことのある科が良いと考えるようになりまし。進路として麻酔科、呼吸器内科も考えましたが、一番やりたいは外科であり、その中でも呼吸器外科が一番魅力を感じていたので、呼吸器外科学教室のある慶應への入局を決めました。旧研修医制度の最後の年でした。1年間の慶應病院での研修の後、足利赤十字病院、国立病院機構霞ヶ浦医療センターへ出向し、2006年に呼吸器外科学教室に帰室しました。大学での3年間の後、その後出向した埼玉医科大学総合医療センター、国立病院機構神奈川病院で、呼吸器外科の手術手技、周術期管理、化学療法、気管支鏡検査、緩和医療について学ばせていただきました。その一方で、自分の知識や出来ることが専門にど

「これで良いのか?」という思いが生まれまし。そのような思いと、多くのご縁、タイミンが重なり、沖縄県の宮古島で訪問診療に携わろうという決断に至りました。2012年1月から宮古島の在宅診療支援診療所に勤務しました。離島の診療所というと、島に医療機関が診療所1ヶ所しかない、「Dr. コトコト診療所」のような世界を想像される方が多いようですが、宮古島は周囲約100km、人口約5万人、県立病院もありますので、そのイメージとは随分違ってきます。私が勤務していた診療所も医師は私一人ではなく、島在住の医師がもう一人、さらに平日は神奈川にある系列の診療所からの医師が一人加わっての医師3人体制でした。ただ、私が働き始めてまもなくもう一人の島在住の医師が辞めてしまい、その時はかなり辛く、円形脱毛症になり大きな脱毛斑が後頭部にできました。それでも完全にフリーになれる休暇もありましたので、趣味のスクーバダイビングをしたり、外科学会、呼吸器外科学会などの学会に参加することもできました。また、宮古島は日の入りが遅く、終電もないので夜が長

く、平日に同僚や友人と飲みに行く機会も多くありました。診療所では外来診療と訪問診療、往診を行い、胃瘻、膀胱瘻、腎瘻、気管カニューレや人工呼吸器回路の交換、褥瘡の処置、そしてご自宅でのお看取りも数多く経験しました。その他、島内で開かれるスポーツや音楽イベントの救護班としてのサポートも行っていました。

もっと宮古島にいたいという気持ちもありましたが、家庭の事情もあり、3年3ヶ月間の宮古島生活を終え、2015年に再入局させていただきました。現在は川崎市立川崎病院に外科の一員として勤務させていただきます。その中で呼吸器外科は澤藤誠先生(67回)、奥井将之先生(85回相当)と私の3人で診療にあたっています。また当院には、日本女性外科医会の世話人をされている萬谷京子先生(74回相当)がいらっしゃいます。萬谷先生の女性外科医に対する熱い思いから、不定期ではありますが、「川崎病院女性外科医夕食会」や「女性初期研修医と女性外科専攻医・スタッフとの懇親会」が開かれており、私も参加させていただいています。女性研修医・

専攻医の先生方と色々な話をしたいものの職場ではゆっくりお話しすることが難しいため、鉄板焼きレストランに場所を移し、美味しいお食事をいただきながら、お互いの経験や思いを語り合い、とても楽しい時間を過ごしています。病院での診療やこの懇親会を通して、私達が情熱を持って楽しく働いていることが若手の女性医師の方々にも伝わっていたら嬉しく思います。この原稿を書いているのは緊急事態宣言真っ只中であり、残念ながらこの会もしばらく開催できません。再開できる日が早く来ることを願うばかりです。

Advertisement for Abraxane (Abraxane I.V. Infusion 100mg) featuring the product name, dosage, and manufacturer information (Taiho Pharmaceutical Co., Ltd.).

なでしこ外科医



このたびは「なでしこ外科医」への投稿の機会をお与えいただき、ありがとうございます。
思い返せば、私が外科医を志したのは小学5、6年生の頃でした。テレビドラマの女性外科医の姿に憧れたからです。

2009年に外科学教室へ入局し、多くの先生方から厳しくも温かいご指導をいただき、多種多様な手術を執刀させて頂きました。術後、患者さんの安堵な表情を拝見するたびに、外科医になって良かったと心から嬉しく思ったことを思い



筒井 りな (86回相当)

だします。ポストチーフで出向した練馬総合病院では、自ら考え自ら責任を持つというスタイルで、多くの手術を執刀させて頂きました。東京医科大学八王子医療センターでは、河地茂行教授と千葉斉一准教授のお立ち会いのもと、初めて

患者さんが女性外科医に求めていることについてのアンケート調査を行いました。その結果、患者さんが求めるのは、医師の性別を問わず、適切な診療と手術とでした。これをみて、「女だから」ということに何となく甘えていた自分に気がつき、いかなる状況であってもメスを手にする以上は責任感を持たなければならず、そのためには己の環境を整え、出来る範囲で出来る限りの努力をすることが最優先と考えるようになりました。



長い間東京、茨城を往復して診療してまいりました。30年近く勤務した東京都済生会中央病院で手術をした患者さんをフォローしてききましたが、この春で

濱名 元一 (47回)



東京での診療活動を辞め、今年開院200年目を迎える安分堂濱名医院で地域医療を続けております。時々娘婿が手伝いに来てくれます。孫は一男二女、男の子が幼稚園にお世話になっております。診療の傍ら裏の畑でトマト、ネギ、いも等を栽培しております。肺活量維持のために75歳からクラリネットのレッスンを受けて、ジャズとワインを楽しみながら女房と元気に過ごしております。

私は東邦大学を定年退職後、国際医療福祉大学を経て、10年前より千葉県木更津市にある重城病院(院長:重城明男君、児外47回相当)で肛門外来と肛門小手術のみを担当しております。昨年より車による通勤を断念

寺本 龍生 (47回)



し、高速バスによるアクアラインを経由した片道2時間、週二日の勤務に縮小しております。幸い通勤時間が長いので、刀林会のCDで唯一当選した「POD」を通じてクラシックや邦楽(尺八、琴、三弦合奏)の名曲をのんびり楽しんでいきます。ゴルフは数年前、海外でのスキーは昨年より断念しましたが、週3回1000m/回の水泳は続行しております。妻、美奈子も変わりなく元気で愛犬(トイプードル)の世話と庭の園芸にかまけています。孫は高1を先頭に男3、女2の5人です。

近況報告

47回生



相川 直樹 (47回)

2009年の義塾定年後、済生会中央病院特別顧問、国際医学情報センター理事長などと、Medical Excellence JAPANの山本修三理事長(38回)の下で、外国の患者を受入れる日本

の病院の認定事業と、日本の医療の海外展開のためにタイ・フィリピン・インドネシア・インド・サウジアラビア・キューバなどを訪問しました。2017年からは聖路加国際大学理事として大学と聖路加病院の運営にも少々関わっています。COVID-19では抗体検査導入の臨床試験などで多忙でしたが、やっと日本でも抗体検査ができるようになりました。そろそろ仕事を減らし、N響などクラシック音楽で余生を送りたいと願っています。



伊藤 泰雄 (47回)

杏林大学小児外科教授を退任し、第二の人生を模索していた時、北島政樹先生から国際医療福祉大学熱海病院小児科へ誘われた。「小児外科医なら子供を診られるでしょう」と言われ意を決した。幸い小児科の同級生も入職したため指導を仰

ぎながら六年間を過ごした。七〇歳時に小林紘一先生から「開院準備をしている武蔵野徳洲会病院に小児科医がいけないけど誰か知らない？」と尋ねられ、それではとその同級生と共に移り、五年間、小児科・小児外科を担当して昨年退職した。退職後は自宅近くの新百合ヶ丘総合病院に「舌小帯外来」を開設して頂き、日帰り手術を始めたところ、遠方からも患者さんが来院するようになった。振り返ってみると人生の転機ではいつも刀林会の先輩方に手を差し伸べて頂いており、有り難いことと感謝している。

エッセイ

「ラン活」



佐野厚生総合病院
外科・乳腺外科

和田 真弘 (78 回相当)

私は栃木県佐野市にあり
ます佐野厚生総合病院外
科・乳腺外科に勤務して
おります乳腺専門医です。こ
こ佐野市は私の生まれ故郷
です。今までにお世話に
なつた地元の方々に恩返し
をすべく、日々乳癌診療に
励んでおります。

それと並行して、ここ数
年「ラン活」に励んでおり
ます。ラン活とはあまり聞
き慣れない言葉だと思いま
す。Googleで検索してみ
ると、「小学校入学を控え
た子供のランドセルを選
び、購入するための活動」
と出てきます。しかし、私
が使用するラン活は、その
ような意味とは全く異なり
ます。ここでのラン活は、
「日々の個人的な趣味での
ランニング」を意味します。
ラン活をはじめたのは、
3年くらい前です。それま
では、私の趣味はゴルフ、
特に競技ゴルフに没頭して
おりました。しかし、競技
に参加するたびに、勤務医
が競技ゴルフで勝ち抜いた
めには、絶対的な時間不足
であることを痛感しまし
た。そこで、キレイさっぱ
りと競技ゴルフをやめてし
まいました。

そのかわりにはじめたの
が、このラン活です。最初
は2kmを完走するのやっ
とでしたが、最近では15
20kmくらいは完走するこ
とができるようになりました。

私の中のラン活の最大の
目的は、自分自身とゆっく
り向き合う時間を確保する
ことです。大会に出たり、
フルマラソンを完走したり
することを目的にはしてお
りません。

頻度は週に3回くらいで
す。走行距離としては、週
末は15〜20kmを、平日は5
〜6kmです。このくらいが
私のいまの生活には適当な
頻度と距離です。とにかく
大事にしていることは、自
分のラン活の目的を見失わ
ないことだと思っております。

さて、ラン活の分野にも
ITの波がどんどん押し寄
せてきております。私はラ
ン活をする際には、スマー
トフォンを身につけ、ラン
ニング用の様々なアプリ
ケーションを使用しており
ます。例えば、走行距離・
時間などを記録して、デー
タ解析してくるアプリがあ
ります。最近では、走った

経路をGPSで捕捉し、最
後にそれを動画処理して、
スポーツ番組で良く流れる
コース紹介なみの動画にま
で仕上げてくれるものまで
あります。

私はこれらのアプリで得
られたデータや動画を、S
NS(主にFacebook)に
毎回投稿し続けてしまし
た。それにより、自分の日
常生活の記録の一部として
ラン活を取り入れることが
できました。

さらに、このラン活のS
NSの投稿をきっかけに、
たくさんの方々とながら
つながることができました。一番嬉
しいことは、自分が手術し
た患者さんから応援メッ
セージをいただくこと
です。

このようなラン活を継続
した結果、総走行距離も
2000kmを超えました。
今後もこのラン活をのんび
りと自分のペースで継続し
ていきたいと思っております。

追悼

丸谷巖君を悼む

浜松北病院 名誉院長

松田 宏一 (46 回)

S42年卒後、インターン
闘争、国家試験ボイコット
を経験し、帰局後、星野講
師(後日、教授に昇進)の
手術の薫陶を身体に叩き込
まれ阿部令彦教授の厳しい
けれども、懐の深い教えを
受けた一門で、同期である。
46回生はS50年レジデ
ント終了後に夫々、関連病院
へ赴任するグループと教室
に残るグループに分かれ
た。丸谷君は国立栃木病院

へ、私は浜松赤十字病院へ
出張しました。約8年後の
S58年、私は浜松北病院、
丸谷君は旭川で丸谷病院を
個人病院として、設立しま
した。ここから彼との第2
の交流が始まりました。
夫々の思いで、実践的な外
科系病院を開設する事とし
た。苦闘する事30数年外科
医として、終身手術が続け
られる病院へと病院経営に
半生をかけた。外科は

まるおもてなしを受ける事
になりました。その後、20
年前から、46回有志による
チャランポラン会と称する
ゴルフ同好会が合流し、昨
年まで続いていました。
丸谷君！志半ばとは申し
ません。よく頑張りました。
現在露呈している日本の医
療体制の不備を若い後輩に
任せましょう。きっと期待
出来ると思います。

診療所では経
営が大変難し
いからです。
経営も順調に
なったS60年
から気候の良
い6月中旬
頃、毎年旭川
へ1泊2日で
交流を兼ねて
の訪問が始ま
りました。30
年近いお付き
合いの間、奥
様(精神科
医)、弟の丸
谷 真君(整
51回)、斎藤
事務長(丸谷
君の同級生で
元銀行支店
長)から心暖

現在の新型コロナウィー
ルス感染で露呈した如く、
日本の病院は大変、抵抗力
のない非常にもろい構造で
あります。病院は我々の仕
事場として持久力のある高
度の科学技術の皆で、国防
上でも重要な施設でなけれ
ばなりません。今後、これ
を機会に医療スタッフが安
心、安全に仕事出来る施
設となるよう、国も力をそ
そぐ必要があります。個人
では現在の保険制度のもと
では、その構築が難しいと
経験上、申し上げ、筆を置
きます。



第20回慶大医学部46回生 旭川ゴルフ会 2015.6.20 於花まる亭
前列左から3番目 丸谷巖君、右隣 筆者

追伸
現在の新型コロナウィー
ルス感染で露呈した如く、
日本の病院は大変、抵抗力
のない非常にもろい構造で
あります。病院は我々の仕
事場として持久力のある高
度の科学技術の皆で、国防
上でも重要な施設でなけれ
ばなりません。今後、これ
を機会に医療スタッフが安
心、安全に仕事出来る施
設となるよう、国も力をそ
そぐ必要があります。個人
では現在の保険制度のもと
では、その構築が難しいと
経験上、申し上げ、筆を置
きます。

まだないくすりを
創るしごと。
明日は変えられる。
astellas
アステラス製薬
www.astellas.com/jp/

漢方医学と西洋医学の融合により
世界で類のない最高の医療提供に貢献します
https://www.tsumura.co.jp/
●お問い合わせは、お客様相談窓口まで。
【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970 【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

追悼

峯 徹君を偲んで



峯 徹先生(43回)が2020年3月11日に亡くなった。峯先生と言えども、ずいぶん前には、学会に出席している時に、いつもポスターの前で抄録にメモを書いている姿であった。学会に出張する前に抄録を檢討して、発表を見てさらにメモを取っているのだった。非常に勉強家であり、非常に寡黙でもあった。しかし、寡黙ではあったが、ボソツという言葉には千金の重みがあった。

峯先生は1964年卒、工藤達之(14回)の大学院に進み小脳の静脈の研究をした。その後、宇都宮済生会の村瀬活郎(40回)のもとに出張し、その後、足利日赤の部長として佐々木知明(特47回)と赴任した。そこで、日本でも最初の時期に手術用顕微鏡を、1979年にCTを導入し、私が第一号の被験者になった。その頃、私、佐藤周三(56回)は卒後3年目、脳外一年目のフレッシュマンとして赴任した。足利日赤に行く前に神奈川済生会で山本修三(38回)、相川直樹(47回)の下で一般外科の研修を終えたばかりだったので、峯先生から、最新の外科の情報を保持しているのだからそれを脳外科に生かすようにと言われた。そして、座位手術の際の空気塞栓を心エコーで観察させてもらい、その論文はJournal of Neurosurgeryに掲載され、その後、世界的に座位手術が無くなってゆくきっかけになった。当時、グラスゴーコーマスケールが発表され、峯先生に日本語に訳すように言われ、消防署にも出向いて講演をして足利で実用化することが出来た。峯先生のもとは、脳外科の基本、学問に対する姿勢、特に学問とはこうあるべきだという姿勢についての薫陶を受けた。自宅に何うと息子さんの峯 裕(75回脳外)等兄弟が山の中を走り回っていた。多くの経験をさせて戴いたが、送別会の三次会で峯先生が、「なあ佐藤、教育ってえのは耐えることだなあ」と、例によってボソツとつぶやいたのを聞いて、ずいぶんとご迷惑をかけた

のだなあと思いながらも、今でも感謝の念で一杯である。この教えは、後に自分が後輩を指導するときの原点となり、またその後輩から後輩へと受け継がれて現在に至っている。峯先生のもとで薫陶を受けた脳外科医は、後に大いに活躍している先生が多く、詳述に戸惑うほどである。慶應の脳外科の三代目教授の河瀬斌(49回)もノーマンズランドの動脈瘤の手術を峯先生のもとで初めて成功させ、Journal of Neurosurgeryに投稿し、有名な「河瀬のトライアングル」が世界に広まるきっかけになった。当時、地方病院の院長でありながらJournal of Neurosurgeryに掲載される論文二本を指導したという実績は、峯先生の学問的な力をよく表していた。慶應の7年間の脳外科教授不在の後、1984年に戸谷重雄(36回)が脳外科二代目の教授に就任した。我々は峯先生が慶應のスタッフとして戻られると思っていたが、そのまま足利に留まる

ことになった。その後、鳩ヶ谷第一クリニックを開業した。開業後の数年間は24時間泊まり込みで診療に当たられており、我々もできるだけ峯先生の負担を軽減できるようにお手伝いをさせて戴き、私にとって二例目の開胸心マッサージまで経験させていただいた。その後、例によりボソツと「なあ佐藤、開業するなら50才までだなあ」とつぶやかれ、その言葉に影響され、大学を早めにやめて開業した。峯先生には40年以上薫陶を受け、人生の節目節目で私の進む先を示して戴いた。峯先生の医療に対する真摯で温な態度、学問的な情熱は後進にも伝えてきた。峯先生の教えは、後進にいつまでも生き続けていくと思う。有り難う御座いました。合掌

(敬称略、病院名通称)

佐藤 周三 (56回)

診療体系グループ紹介

呼吸器外科



慶應義塾大学医学部 外科(呼吸器) 教授

浅村 尚生 (62回)

「刀林」誌上で、診療グループとしての「呼吸器外科」を紹介する機会を頂き感謝申し上げます。診療科の名称として「呼吸器外科」は必ずしも適当ではなく、実際の守備範囲は、呼吸器(肺、気道)以外に、胸郭、縦隔の種々の疾患を含みます。疾患単位としては、肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、気腫性嚢胞、胸郭変形のひとつである漏斗胸などが主たる守備範囲です。漏斗胸に対するNuss法とその変法手術は、本邦でも当院が最も得意とする新しい手術で全国から多くの患者が集まっています。診療科としての体制は、慶應病院を含めて21の関連施設からなり、2019年にこれらの施設で行われた呼吸器外科総手術件数は3,991例になります。特に肺癌の切除症例は1,887例で、おそらく単独医局の手術件数としては本邦最大級です。慶應病院単独の手術件数が420例、2019年が578例と、殆ど年間600例に達するレベルに成長しました。これも大病院としては本邦最大級ですし、慶應呼吸器外科の歴史上も最多です。2020年は、コロナ禍の影響が出ていますが、年間1000例の手術を目標にしています。また、2018年の決算では、院内の診療科としてはもっとも大きな診療収入をあげることができ、2019年ではその収入をさらに大きく拡大しています。一方、私の着任以来呼吸器外科の手術死亡は0%を更新中であり(手術死亡は1例もありません)、合併症率もきわめて低率(1%未満)で推移しています。呼吸器外科手術の安全性としては、ほぼ理想的な到達点に到達し、維持出来ていると思います。



このように、如何に効率的に、低侵襲で高収益性の呼吸器外科診療を展開するか、ということが当診療科が精力的に取り組んできた中心的な課題です。低侵襲だが長時間だったり高コストだったりする手術は、結局市民権を得るには至らない自己満足の手術ではないのでしょうか。時間に正確な手術であれば、手術室、麻酔科は受けてくれるのです。慶應の呼吸器外科では、若い諸君の手術技量を最大限に伸ばし、併せて臨床に立脚した研究を広汎に展開して、名実ともに日本を代表する呼吸器外科学教室となれるよう精進を続けてゆく所存です。

慶應義塾大学病院 外来 外科担当表

初診外来 (午前)

一般・消化器外科

北川雄光 阿部雄太 和田則仁 尾原秀明 北郷実 川久保博文

小児外科

黒田達夫 黒田達夫 交代制 山田洋平 加藤源俊 山田洋平 加藤源俊 加藤源俊 藤野明浩

心臓血管外科

各月変更

伊藤努 山崎真敬 木村成卓 志水秀行 川合雄二郎 高橋辰郎 秋山章

呼吸器外科

朝倉啓介 浅村尚生 政井恭兵 加勢田馨 菱田智之 浅村尚生

交代制

秋山武紀 佐々木光 高橋里史 戸田正博 三輪点 秋山武紀 堀口崇

◎印 診療部長 ○印 診療副部長

特殊外来 (午後)

月 血管

松原健太郎 細川恭祐 北郷実 篠田昌宏 尾原秀明 岡林剛史 高橋麻衣子 入野誠之

小児外科

八木洋 尾原秀明 関朋子 山脇幸子 岡林剛史 清島亮 長谷川康

心臓血管外科

第4週

松田論 竹内裕也 関朋子 小谷依里奈 真柳修平 川久保博文

呼吸器外科

朝倉啓介 松田論 朝倉啓介 大平貴之 阿部雄太 田中真之

交代制

佐々木光 星野健 高橋麻衣子 堀周太郎 尾原秀明 高橋里史 戸田正博

木 乳腺 肝臓・移植 尾原秀明

編集委員

松原健太郎 菱田智之 小林正人 山田洋平 岡林剛史 松井信平 清島亮 堀口崇

金腸

小児移植 山田洋平 岡林剛史 松井信平 清島亮 堀口崇

小児

加藤源俊 加藤源俊 交代制 川久保博文 竹内裕也 古川俊治 関朋子

訃報

保男君 (28回) 令和元年12月1日

吉亨君 (42回) 令和元年12月6日

是實君 (34回) 令和元年12月22日

巖君 (46回) 令和2年2月14日

徹君 (43回) 令和2年3月11日

開業

秀樹君 (72回相) 令和2年4月1日

知孝君 (74回) 友佳子君 (78回相) 令和2年4月1日

赤津 友佳子君 (78回相) 赤津 知孝君 (74回) 令和2年4月1日

編集後記

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、私達の生活様式や診療体制が大きく変わりつつある。緊急事態宣言下で「不要不急」の外出自粛が要請され、様々なイベントが延期された。日本中がいついかに月前まで盛り上がりつつあった東京オリンピックピク

刀林賞募集

刀林賞は、刀林会の以下の優れた業績に対して授与されます。奮ってご応募ください。奮ってご応募ください。

- 一、臨床的研究
二、臨床上、有用な基礎的研究
三、医学上の社会活動に関する研究
四、本会の発展に著しく貢献したと考えられる業績

刀林会刀林賞 毎年1編以内 副賞：50万円
刀林会奨励賞 毎年2編以内 副賞：10万円

- 応募資格
一、査読システムのある医学雑誌に、当該選考年の11月30日までの直近2年間に、掲載又は掲載確定となった学術論文の筆頭著者
二、刀林賞受賞歴のない者
三、刀林会会費完納者

ただし、医学上の社会活動に関する研究、本会の発展に著しく貢献したと考えられる業績に関しては、応募資格一、二の限りではない。

- 応募方法
一、毎年7月1日から11月30日までの間に、応募用紙(ダウンロード)を用いて応募する。
二、前項記載の応募用紙は、本会ホームページ記載のものをダウンロードして用いる。
三、応募者の指導者ないし、指導教授1名の推薦状(書式：応募用紙中)を要する。

受賞者は、6月の総会にて表彰されます。また、刀林新聞に論文の概要が掲載されます。
選考方法などは、刀林賞規則をご参照ください。刀林会HPに掲載されています。
ご質問等ございましたら、外科同窓会までご連絡ください。
(tourin-h@keio.jp) 以上

人事異動

小川 健二 (55回) 栃木県済生会支部支部長
窪地 淳 (58回) 済生会宇都宮病院名誉院長 兼 経営特命
松井 淳一 (58回) さいたま市立病院名誉院長
堀之内宏久 (61回) さいたま市立病院院長
長谷川博俊 (66回) 東京歯科大学市川総合病院外科科学講座主任
守瀬 善一 (66回) 藤田医科大学岡崎医療センター院長
池田 佳史 (67回) 国際医療福祉大学熱海病院院長
篠崎 浩治 (68回) 済生会宇都宮病院副院長
板野 理 (71回) 国際医療福祉大学医学部消化器外科科学教室主任教授
儀賀 智久 (72回) 国際医療福祉大学成田病院副院長
首村 智久 (72回) 国際医療福祉大学医学部准教授
北郷 実 (74回) 慶應義塾大学医学部外科(一般・消化器)准教授
北條 昌宏 (73回相) 埼玉医科大学国際医療センター乳腺腫瘍科教授
篠田 隆 (73回相) 埼玉医科大学国際医療センター乳腺腫瘍科教授
江川 智久 (74回相) 済生会横浜市東部病院 副院長
大山 隆史 (78回) 国際医療福祉大学成田病院 准教授
鶴田 雅士 (79回) 国際医療福祉大学成田病院 准教授

刀林会会員管理システムについて

郵便物発送先、一斉メールにてのお知らせなど「刀林会会員管理システム」にておこなっております。
メールアドレス、ご勤務先、ご自宅住所などのご変更があった場合は、ご自身にてアップデートしていただくことをお願いいたします。

開業についてのお知らせ

開業の際は、同窓会へご連絡をお願いいたします。
記念に刀林会より盾を進呈いたします。
よろしくお祈りいたします。

<刀林会 事務局>
〒160-8582 新宿区信濃町35
慶應義塾大学医学部外科同窓会事務局
TEL : 03-5363-3800
FAX : 03-3359-9130
tourin-h@keio.jp

